

一般国道9号 御茶屋川交差点改良事業

事業概要

当該箇所は、国道9号と県道米子伯太線が交わる交差点であり、交通量が多く右折車線が無いため、右折待ち車両の滞留への追突事故が多発している箇所である。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、右折車線設置により直進阻害解消、車両の誘導を適正化することにより交差点における事故防止および交通渋滞の解消を図るものである。(※電線共同溝同時整備箇所)

令和3年度は、調査設計、用地補償及び工事を実施する予定である。



事業箇所図

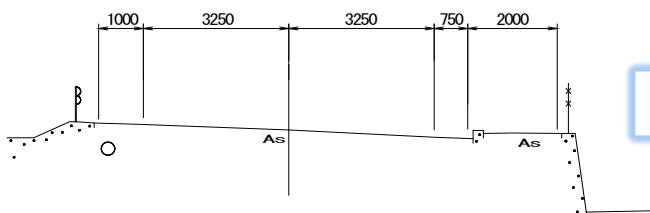


状況写真

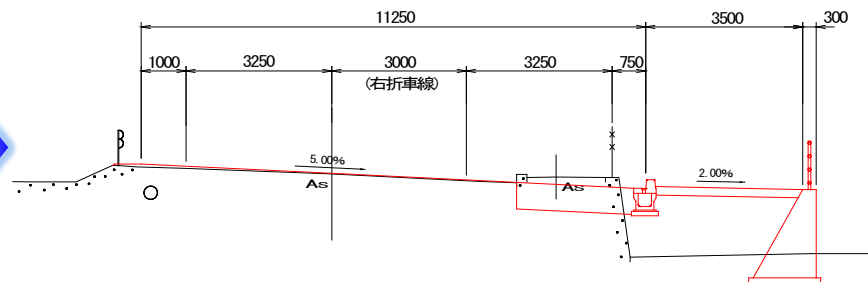


標準断面図

【現況断面図】



【計画断面図】



一般国道 9 号 峰谷交差点改良事業

事業概要

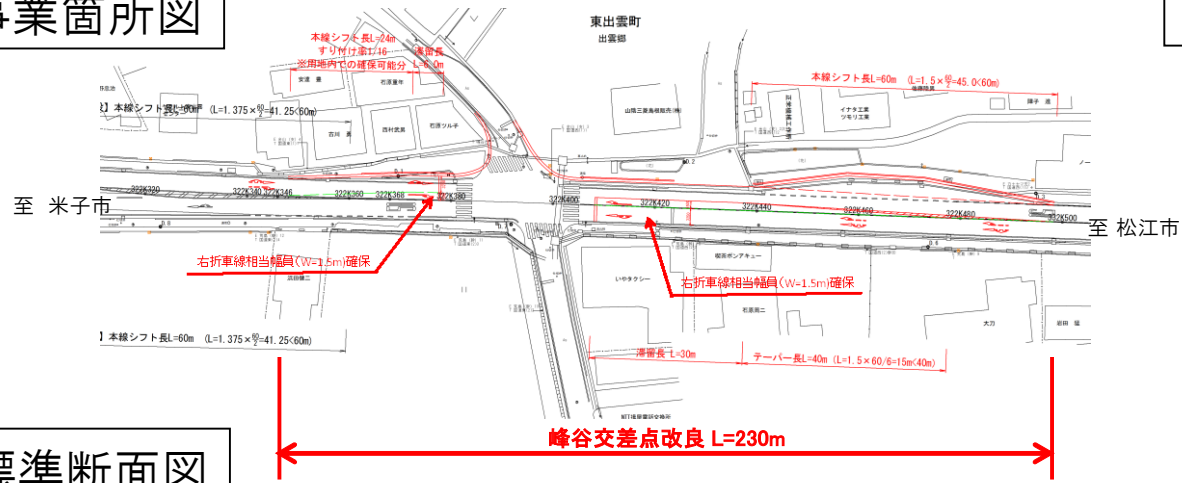
当該箇所は、右折車線のない交差点となっており、右折車両があると後続の車両が滞留してしまうため、朝夕のピーク時を中心に滞留が発生している。このため、信号が青でも減速や停車が頻発し、追突事故が多く発生する危険な状態となっている。

本事業は、事故の要因である右折待機車両による後続車両の停止・減速を減らすため、右折車線相当幅員(W=1.5m)を確保し、右折待機車の横を通過可能にすることで、安全・円滑な交通流を確保するものである。

令和3年度は、調査設計を実施する予定である。



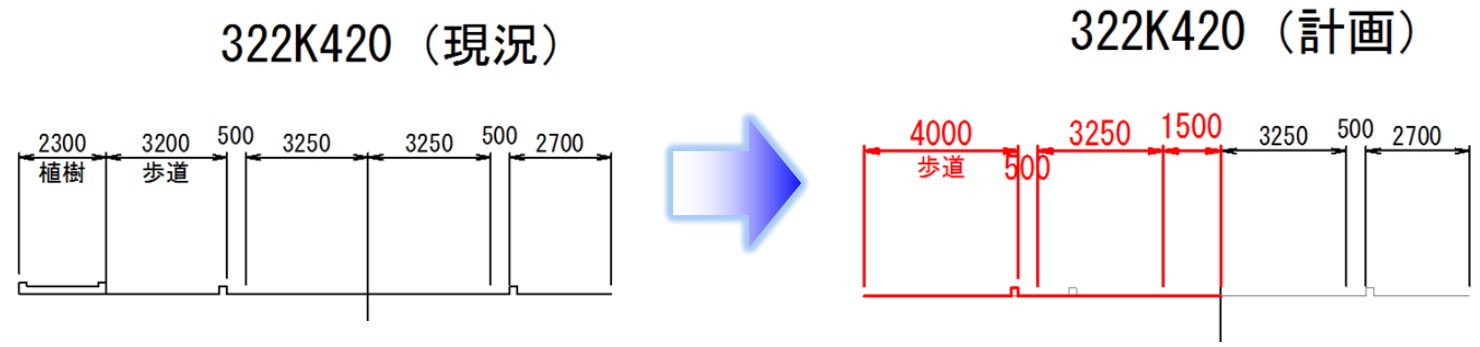
事業箇所図



状況写真



標準断面図



一般国道9号 揖屋自転車歩行者道整備事業

事業概要

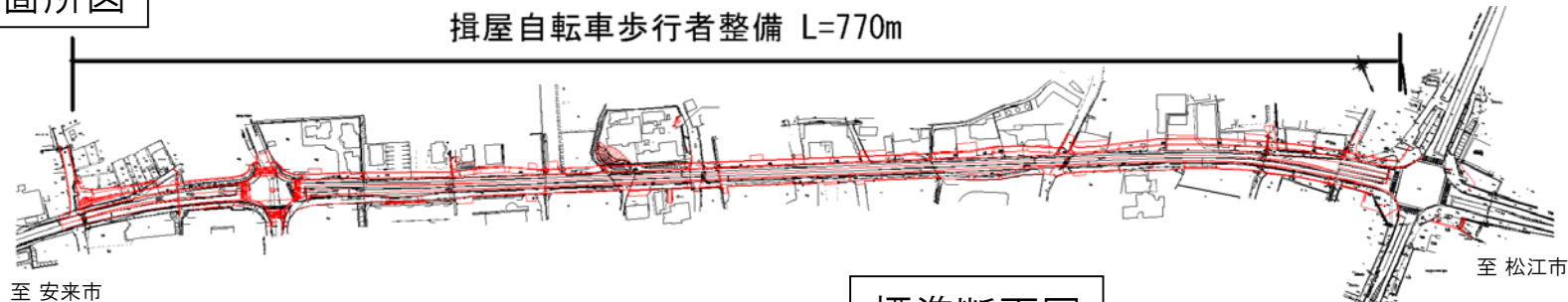
当該箇所は、北側にしか歩道がなく、特に朝は東出雲中学校に自転車通学する生徒と松江市内に自転車通学する高校生とが輻輳することから、自転車通学生の一部は南側車道を通行し、また、沿道には商業施設等が多くあるため、歩行者も多く、非常に危険な状態となっている。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、自転車歩行者道と電線共同溝の整備を行い、歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものである。(※電線共同溝同時整備箇所)

令和3年度は、調査設計、用地補償及び工事を実施する予定である。



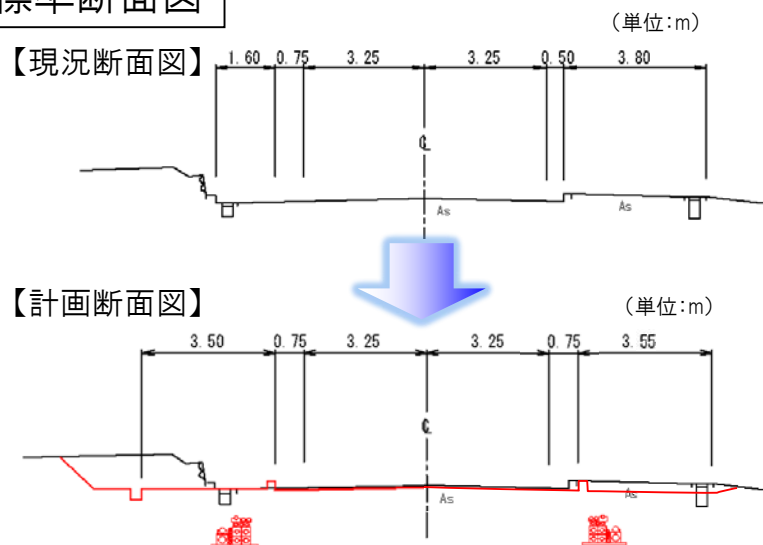
事業箇所図



状況写真



標準断面図



一般国道9号 出雲郷東交差点改良事業

事業概要

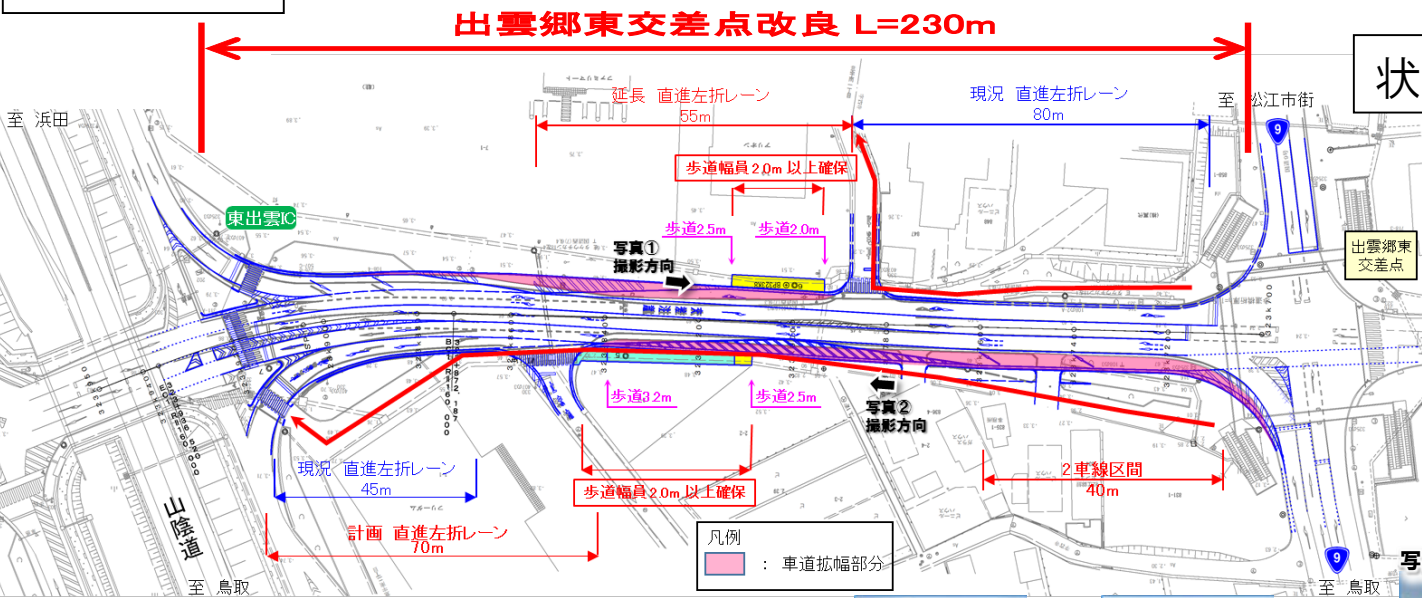
当該箇所は、山陰道の東出雲ICと国道9号を連絡しており、IC利用者が多く、上下線ともに右折車の交通量が多い状況である。このため、慢性的な渋滞が発生し、渋滞により滞留した車両が要因となり、追突事故が発生している。

本事業は、車線の増設を行い、車線運用を変更して、右折車と直進・左折車を早い段階で分離させ、渋滞緩和を行い、交通事故の軽減を図るものである。

令和3年度は、調査設計、用地補償及び工事を実施する予定である。



事業箇所図

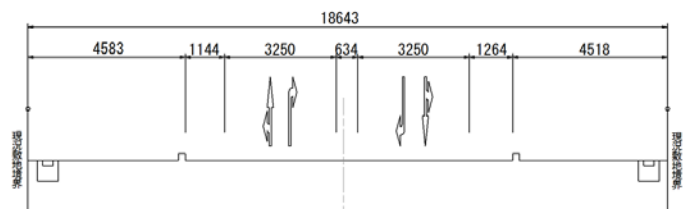


状況写真

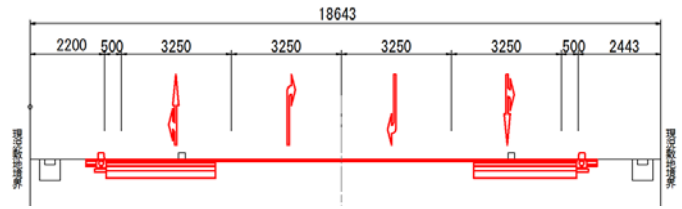


標準断面図

【現況断面図】



【計画断面図】



写真①



一般国道9号 小松歩道整備事業

事業概要

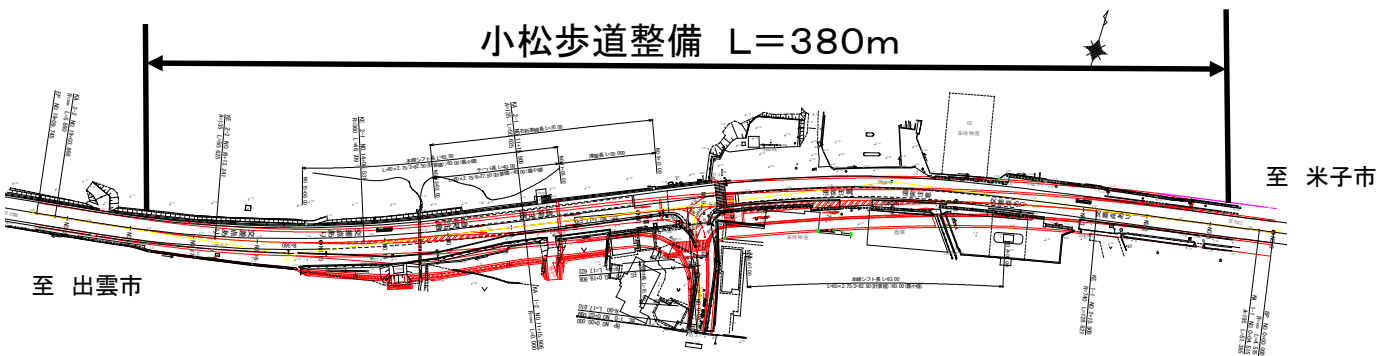
当該箇所は、宍道中学校の通学路として指定されているが、一部区間で歩道が狭く自転車の通行が危険な箇所があるため、隣接の民有地に迂回している状況となっている。さらに、当該交差点は車両感应式・歩行者押しボタン式信号交差点であるが、交通量が多く右折レーンが無いいため、右折待ち車両の滞留や市道からの無理な進入による出会い頭事故が発生している。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間及び松江市通学路交通安全プログラムの対策必要箇所として、歩道を整備し、生徒等の歩行者が安全・安心に通行できる通行空間の確保を図るとともに、右折車線設置による交通事故対策を行うものである。

令和3年度は、調査設計、用地補償及び工事を実施する予定である。



事業箇所図

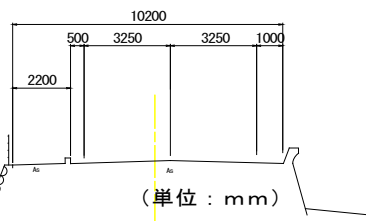


状況写真

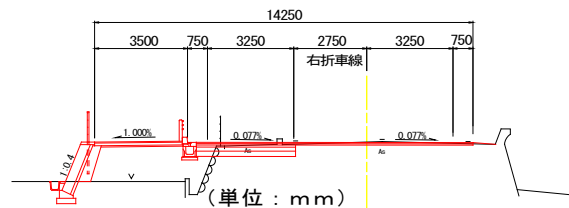


標準断面図

【現況断面図】



【計画断面図】



一般国道9号 直江交差点改良事業

事業概要

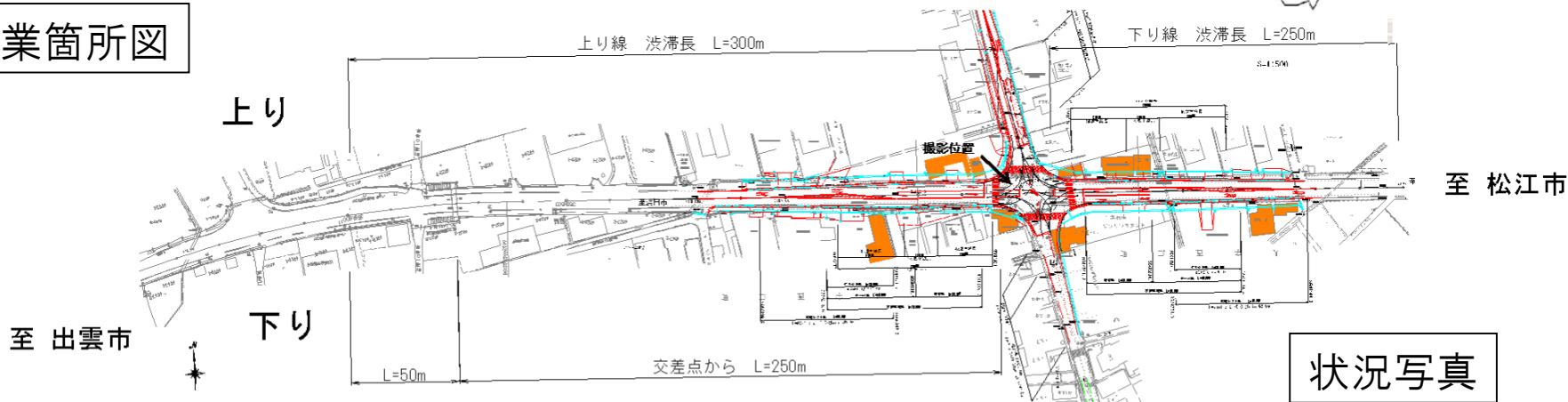
当該箇所は、国道9号と県道十六島直江停車場線が交わる交差点であり、交通量が多いものの右折車線が無いため、右折待ち車両の滞留により追突事故が多発している。また、中部小学校の通学路として指定されているが、国道9号横断待ちの歩行者溜まりもが狭幅で危険な状況にある。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、右折車線設置及び歩道拡幅により交差点における事故防止および交通渋滞の緩和、解消を図るものである。

令和3年度は、調査設計、用地補償及び工事を実施する予定である。



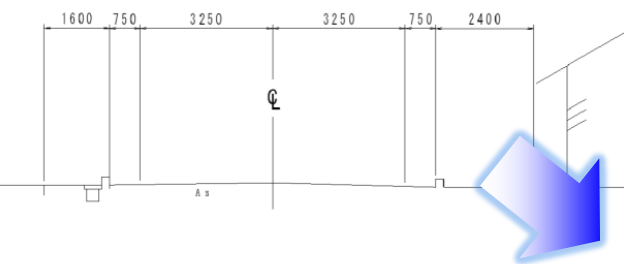
事業箇所図



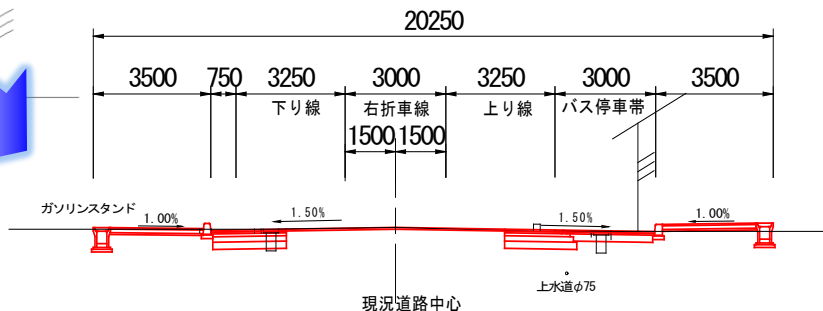
状況写真



【現況断面図】



【計画断面図】



一般国道9号 中野町・姫原地区事故対策事業

なかのちょう ひめばら

事業概要

当該箇所は、出雲市中心部で沿線には多くの商業施設や住宅があり交通量が多い地区である。交通量が2万台/日超と多い中、2車線道路のうえ信号交差点が連続していることなどから滞留した車両への追突事故が多発している。また、右折車線相互が正対化していないため、対向車への視認性が不足し、無理な右折行動による対向車との事故が発生している。

本事業は、付加車線設置による滞留長を低減する対策や、右折車線の正対化による対向車の視認性の向上を図り道路空間の安全・安心の確保を図るものである。

令和3年度は、調査設計、工事を実施する予定である。



状況写真

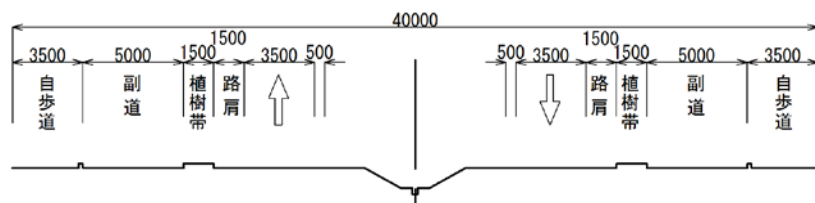


事業箇所図

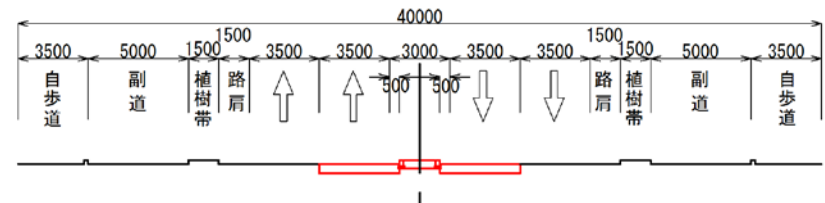


標準断面図

【現況断面図】



【計画断面図】



一般国道9号 仙山地区道路改良事業

事業概要

当該箇所は、国道9号において道路曲線半径の小さい区間が連続する仙山地区のなかでも、特に小さい曲線半径箇所である。当該箇所付近では、車線を逸脱する正面衝突事故が発生しており、走行車両が危険な状況に置かれている。

本事業は、最も曲線半径の小さいカーブについて線形改良(R90m→R100m)を行うとともに、必要な車線幅員の確保、適切な片勾配を附し、摩擦力の高い多機能型排水性舗装を敷設することで走行車両の安全性向上を図るものである。

令和3年度は、調査設計を実施する予定である。

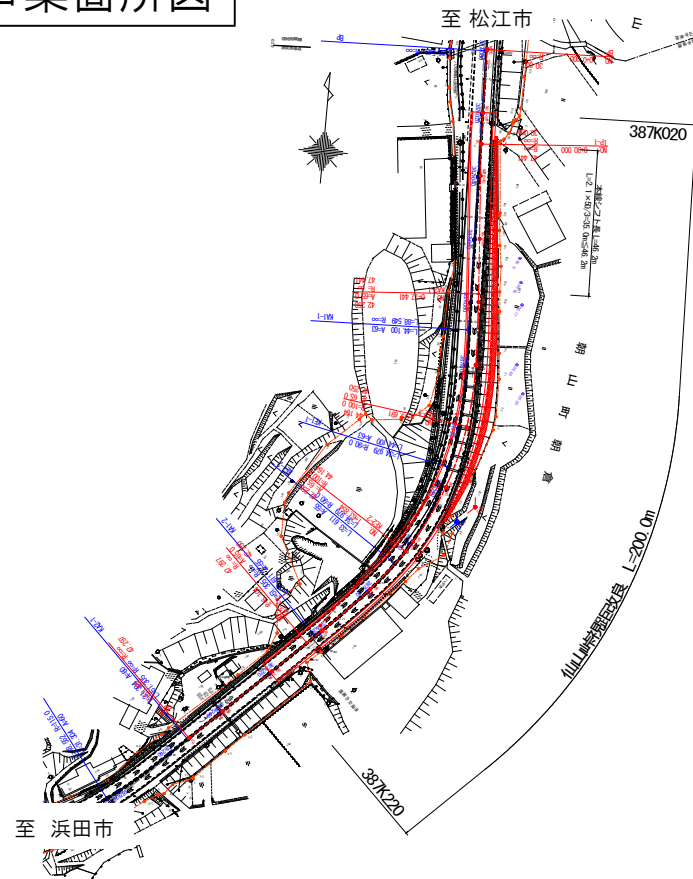
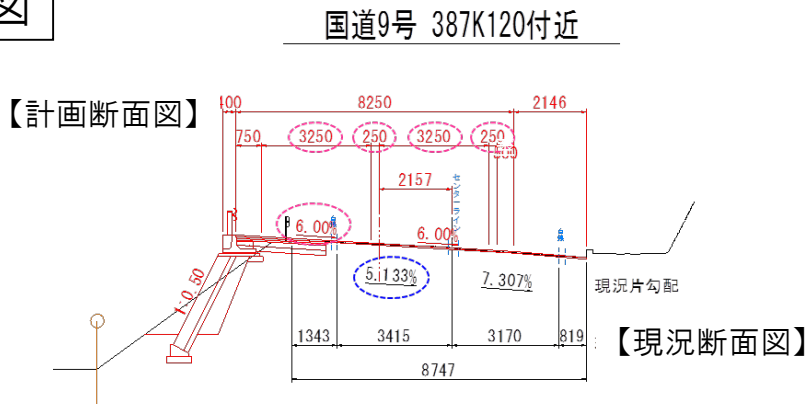
状況写真



事業箇所図



標準断面図



一般国道 9 号 福光交差点改良事業

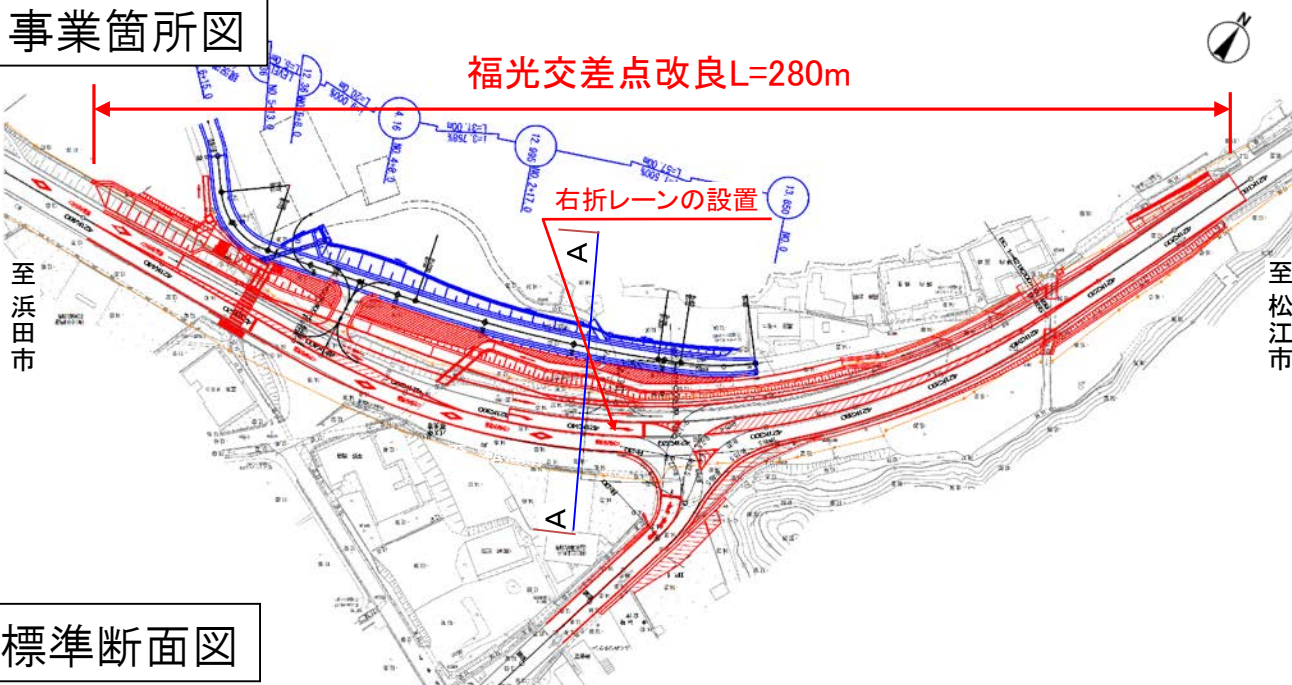
事業概要

当該箇所は、右折車線のない交差点であり、朝夕のピーク時を中心に右折待ち車両に伴う滞留が発生、交差点手前のカーブ区間での減速や停車により、追突及び出会い頭による事故が発生する危険な状態となっている。

本事業は、右折車線の設置により、事故の削減を図り円滑な交通流の確保を図るものである。

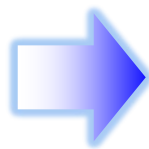
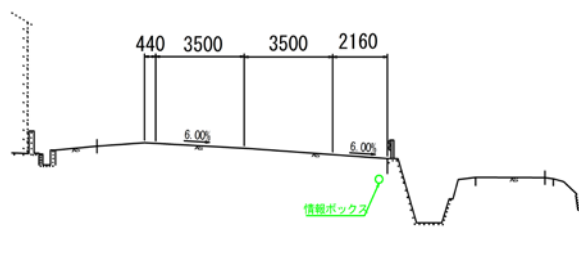
令和3年度は、調査設計及び用地調査を実施する予定である。

事業箇所図

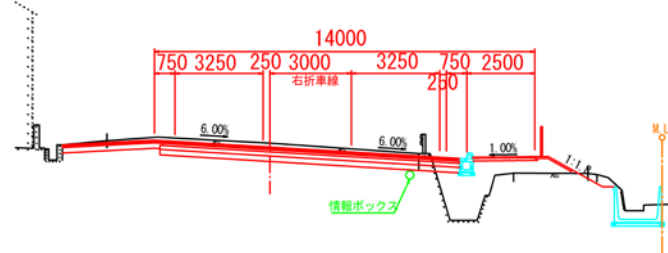


標準断面図

【現況断面図】



【計画断面図】



状況写真



一般国道54号 里方自転車歩行者道整備事業

事業概要

当該箇所は、国道54号と市道尺ノ内線・市道北側中央線が交わる交差点である。周辺には流通団地と工業団地があり、横断する歩行者及び自転車が多いものの、横断施設は約600m離れている箇所にあることから、国道54号の交通量が多い中無理な横断が見受けられる状況にある。また、斐伊小学校の通学路に指定されており、両歩道の整備が求められている。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、国道縦断勾配の修正及び歩道拡幅を行うことにより、安全・安心に横断できる歩行空間の確保を行うものである。(※電線共同溝同時整備箇所)

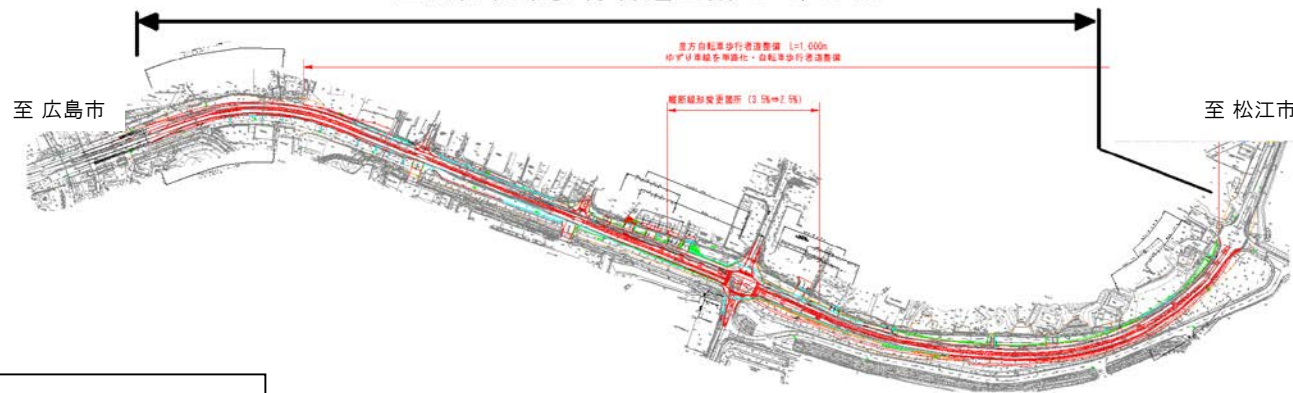
令和3年度は、調査設計を実施する予定である。

事業箇所



事業箇所図

里方自転車歩行者道整備 L=1,300m

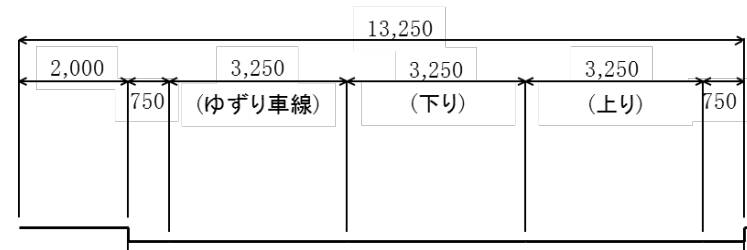


状況写真

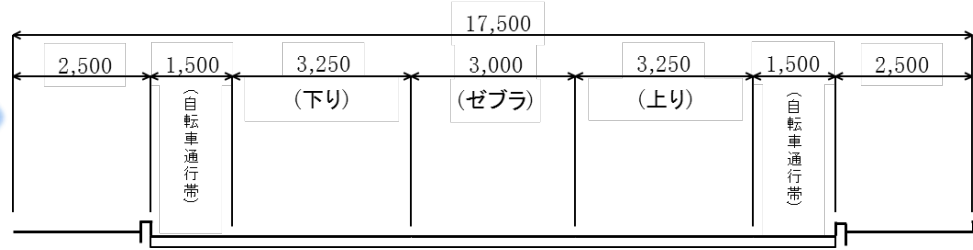


標準断面図

【現況断面図】



【計画断面図】



一般国道54号 柳橋交差点改良事業

事業概要

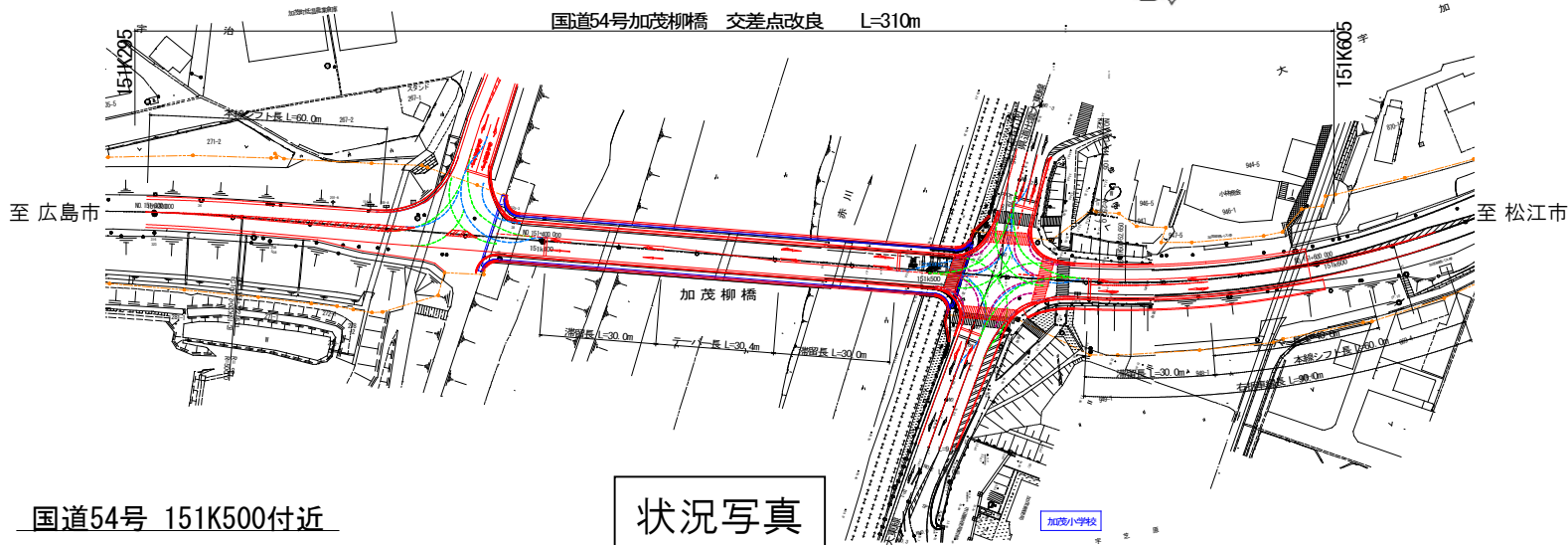
当該交差点は、加茂中学校・加茂小学校の通学路として指定されているが、横断歩道部の歩行者溜まりが狭小なため危険な状況にある。また、国道54号では右折車線が無いいため、右折待ち車両への追突事故が発生するなど危険な状況である。

本事業は、歩行者溜まりの拡幅を図るとともに、加茂柳橋交差点において、右折車線相当幅(W=1.5m)を確保して右折待ち車両への追突防止ならびに渋滞緩和を図るものである。

令和3年度は、調査設計を実施する予定である。

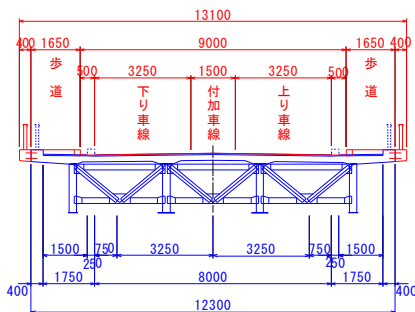


事業箇所図



標準断面図

国道54号 151K500付近



【計画断面図】

【現況断面図】

状況写真



一般国道54号 金丸団地入口交差点改良事業

事業概要

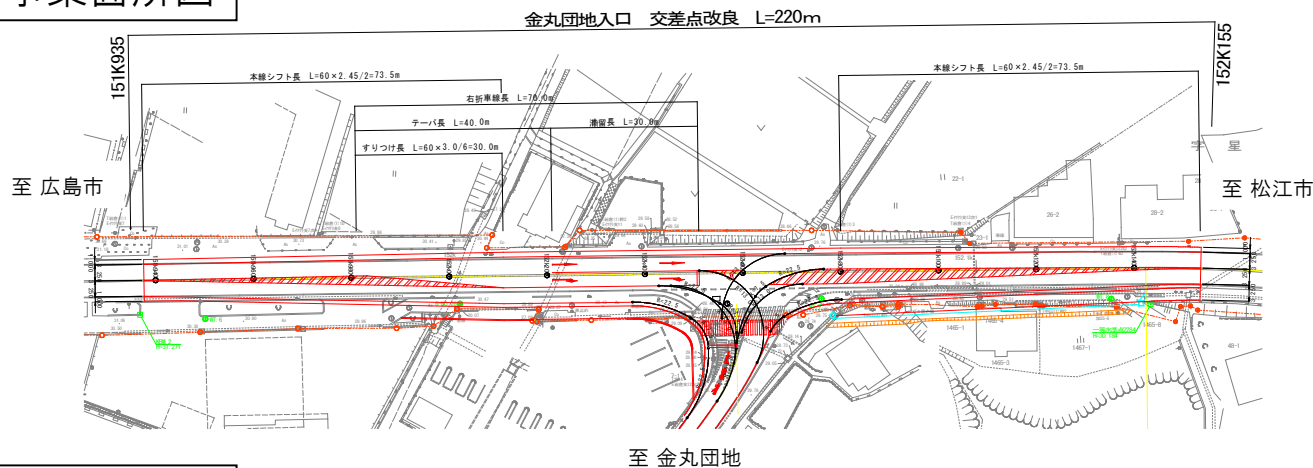
当該交差点は、市道中村家路線が接続する三枝交差点で、松江側の歩道は加茂小学校の通学路として指定されている。近年、団地へ接続する中村家路線への出入り交通量が増加しているが、当該交差点には右折車線が無いいため、右折待ち車両への追突事故が発生するなど危険な状況にある。

本事業は、右折車線を設置して右折待ち車両への追突防止ならびに渋滞緩和を図るものである。

令和3年度は、調査設計、用地調査を実施する予定である。



事業箇所図

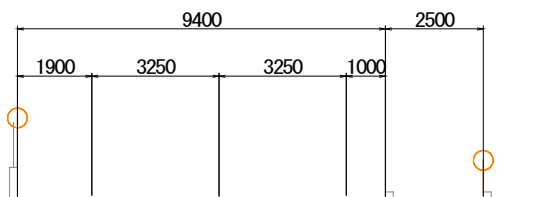


状況写真



標準断面図

【現況断面図】



【計画断面図】

